

Shape your future

ITエンジニアリングで未来をつくる



第42期 中間報告書

自 平成21年2月1日 至 平成21年7月31日



Shape your future

ITエンジニアリングで未来をつくる

経営理念

ITエキスパート集団として成長を続け、
顧客・社会に貢献します

CONTENTS

- 2 株主の皆様へ
- 3 第42期第2四半期累計期間の主な活動
- 5 営業の概況
- 6 セグメント別の概況（連結）
第2四半期連結財務諸表
- 7 第2四半期連結貸借対照表／第2四半期連結損益計算書／
第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書
- 9 株式の状況
- 10 会社の概要

この冊子においては、将来の見通しに関する記述が様々な表現でなされています。その見通しは社会の変化や不確実性に左右され、実際の結果が異なることも考えられます。これらの将来に関する記述に過度に依存なされないようお願いいたします。

株主アンケートへのご協力をお願い

当社では、株主の皆様のお声をお聞かせいただくため、アンケートを実施しています。本書裏表紙にアンケートサイトへのアクセス方法が記載されております。ご協力よろしく願いいたします。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、第42期第2四半期連結累計期間（平成21年2月1日から平成21年7月31日まで）の決算が確定いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

当社グループは、顧客ニーズに迅速に対応することをスローガンに、選択と集中を推し進め事業基盤の強化に努めるとともに、グループ間の連携を図ってまいりました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、昨年来の景気後退の影響から、顧客の情報化投資の抑制傾向が続いており、受注環境がさらに厳しくなるとともに、不採算ビジネスにおける減損処



代表取締役会長

岩崎宏達



代表取締役社長

新野和章

理などを実施したため、営業赤字転落という厳しい結果となりました。

今後の状況につきましては、顧客による企業選別が進み、さらなる競争の激化が予想されるとともに、新型インフルエンザというリスクも加わり、依然として厳しい情勢下であります。

当社グループは、皆様のご期待を裏切らないためにも、経営環境の変化に応じながら継続的に収益を生み出せる事業モデルの構築に積極的に取り組んでまいります。

また、社員一人ひとりが危機感を持って、何事にも努力を惜みずにはチャレンジしてまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

第42期第2四半期累計期間の主な活動

TOPICS

▶ データ統合プロダクトで ダイナトレック社と協業

当社は、データ統合プロダクト「DynaTrek®」を開発・販売する株式会社ダイナトレックと協業し、金融業のお客様を中心に効率的な情報活用を推進するリアルタイムデータ統合ソリューションを展開していきます。従来、システム統合に欠かせなかったデータウェアハウスの構築が不要となり、お客様のIT投資の大幅なコスト削減につなげていきます。

▶ ソフトの検証サービス事業で パラソフトジャパン社と提携

当社はソフトの品質検証サービス事業でパラソフトジャパン株式会社と提携いたしました。同社のソースコード解析ツールを用いたソースコード検証サービスや品質プロセス改善コンサルティングなどを活用した検証サービスを、第三者検証サービス「PROVEQ®」のサービスメニューに追加し、検証事業を展開しています。

▶ サイトの脆弱性診断を行う SaaS型サービス 「WebChecker®」提供開始

Webサイトは企業の重要な情報発信ツールになっている一方、「改ざん」「ウイルス感染」など脆弱性を攻撃する手法が年々進化し、巧妙な手口が増加しています。当社は、SaaS型によるWebアプリケーションのセキュリティ診断サービス「WebChecker®」を提供し、お客様のWebサイトに関する信頼や安全性の確保を支援いたします。

2009

2月

3月

4月

5月

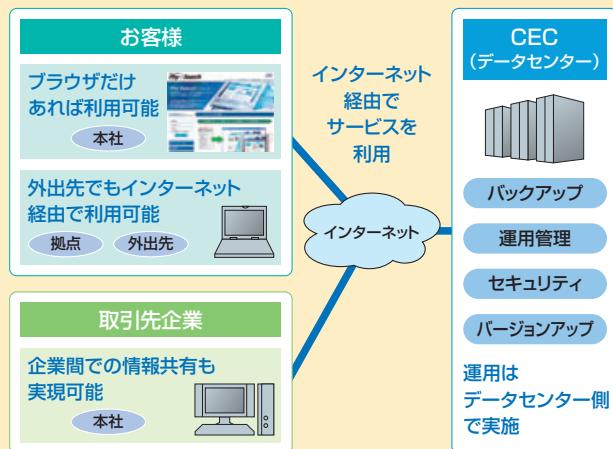
SaaS (Software as a Service) とは?

SaaSとは、インターネットを経由してソフトウェアの機能を提供するサービスです。利用者は、社内に新たなサーバの設置やハードウェアを購入せず、目的に応じて必要最小限のサービス（ソフトウェア）を利用することができるため、初期投資が抑えられるなどのメリットがあります。

【お客様の導入メリット】

- システム導入／構築コストの削減化
- システム運用／保守への利用者側の負担軽減
- サービスを買うという形態のため、サービス選択から利用開始までの時間が短くなる

当社でも、SaaS型サービスの利便性を最大限活用し、当社データセンターにおいて長年培ってきた運用ノウハウを活用したサービスメニューを強化拡充しています。



EVENTS

▶ RaLCビジネスソリューション部を新設

昨年末からの景気後退の影響で、製造・物流各社では工場や倉庫の統廃合など物流機能を見直す動きが高まっています。そこで、当社は3次元（3D）物流シミュレーションソフト「RaLC®」の事業拡大に向け、専門組織を新設し、生産・物流改革へのニーズ拡大に対応していきます。

RaLC®

6月

7月

▶ “とりあえずプリント”の防止に「SecurePrint!Lite」提供開始

多くの企業でセキュリティ対策を強化しているにもかかわらず、印刷物が原因の情報漏えいがなくなりません。当社は、パソコンからプリントジョブ（印刷指示）を送ってもすぐに印刷されずに、ICカードで認証してから印刷する印刷認証ソリューションSmartSESAME®「SecurePrint!Lite」を提供開始しました。



2009. 5.13～15 企業経営に直結した製品・ソリューションイベント 「第14回 データウェアハウス&CRM EXPO」に出展

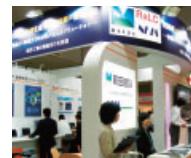
企業経営に直結したCRM、データウェアハウスのための製品・ソリューションが一堂に集まる日本唯一の専門展「第14回データウェアハウス&CRM EXPO」が5月13日（水）～15日（金）の3日間、東京ビッグサイトで開催され、当社が出展いたしました。当社ブースでは、顧客管理・営業支援システム「WonderWeb®」をベースとした様々なソリューションを紹介しました。



2009. 6.24～26 国内最大のものづくりイベント 「第20回設計・製造ソリューション展」に出展

日本最大の製造業向けITソリューションの専門展「第20回設計・製造ソリューション展」が6月24日（水）～26日（金）、東京ビッグサイトで開催され、当社が出展いたしました。最新のシミュレーション技術などを活用した、ものづくりソリューション「VR+R®（ヴィ・アール・アール）」を展示紹介いたしました。

製造業のお客様からは、「工程計画を効率化し業務負荷を軽減したい」「安価に生産準備の作業効率を向上させたい」など、具体的な課題を持った要望や声をいただき、当社ブースは好評を博しました。



2009. 7.30～31 ITサービスマネジメントの祭典「itSMF Japan コンファレンス/ 第6回 itSMF Japan EXPO 2009」に出展

7月30日（木）～31日（金）の2日間、目黒雅叙園において開催された「itSMF Japan コンファレンス」「第6回 itSMF Japan EXPO 2009」に出展いたしました。ITサービスマネジメントのプロフェッショナルによるユーザ・フォーラムとして年1回開催され、当社が展示した5つのソリューション（仮想化・構築・運用・ITILツール・ITコスト分析）に多数のお客様が集まりました。

営業の概況

当第2四半期連結累計期間における情報サービス産業におきましては、昨年来の景気後退の影響から、顧客の情報化投資の先送りや中止の動きが顕著になっており、収益面は一段と厳しさが増しております。

このような情勢下、当社グループは、顧客との緊密な関係を築き、魅力的なサービスを提供できる企業を目指し、事業基盤の強化に努めてまいりました。長年培ってきた技術力やノウハウ等を有する受託システム開発に注力するとともに、当社の優位性が発揮できる第三者検証サービスや国内5拠点目となる大型データセンターが稼動したアウトソーシングビジネスなどを積極的に展開いたしました。

しかしながら、先日発表いたしましたように、当社グループの主力顧客である製造業や金融業等におきましては、景気先行きの不透明感から情報化投資の抑制傾向が続いております。また、受注競争の激化に伴う値引き等により、経営環境が我々の予想をはるかに上回るスピードで悪化しました。さらに第1四半期から続く不採算案件の悪化や無形固定資産の減損処理などにより、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は225億6百万円、営業損失は8億5千4百万円、経常損失は7億7千3百万円、四半期純損失は12億7千8百万円になりました。なお、この結果を真摯に

受け止め、経営責任を明確にするとともに、厳しい事業環境を勘案し、本年8月から来年1月までの期間、役員報酬を減額しております。

情報サービス産業の先行きは、依然として不透明な状況が続くものと思われませんが、一部の企業においては、景気回復の兆しが徐々に見え始め、確実に効果が見込める投資に対しては、前向きな姿勢を示しつつあります。

こうした状況のなかで、当社グループは刻々と変化する事業環境をいち早く察知し、お客様のご要望に柔軟に対応できる体制を築いてまいります。

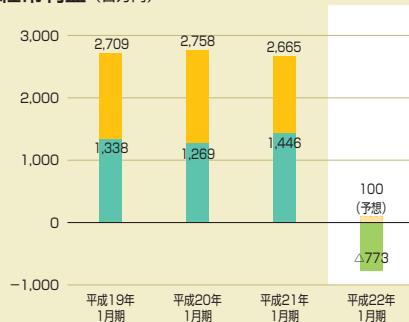
まずは、首都圏事業所の集約化等により徹底したコスト削減に取り組み、収益構造を改善するとともに、既存事業をきめ細かく洗い直し採算性をもとに絞込みを行います。また、認証印刷ソリューション「SmartSESAME®SecurePrint!」シリーズや、生産工程や物流の改善を図るソフト「RaLC®」(ラルク)など、お客様の経費削減に直結するソリューションの販売促進に注力します。

さらに、経営の効率化と内部統制の強化に取り組み、生産性や品質の向上に努め不採算プロジェクトの発生防止を徹底させていく所存でございます。

売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



四半期純利益 (百万円)



セグメント別の概況（連結）

ソフトウェア開発事業

115億5千1百万円

構成比

51.3%

主要顧客である製造業や金融業の収益悪化によるIT投資の延伸や値下げ要求などにより、売上高は115億5千1百万円となりました。

顧客との緊密な
関係を築きながら、
新規ビジネスの創出と
収益基盤の強化に
努めてまいります。

情報システムサービス事業

109億5千4百万円

構成比

48.7%

神奈川第二データセンターの開設によりアウトソーシングビジネスの業績は順調に推移しましたが、製品検証ビジネスなどのプロフェッショナルサービス事業の売上が減少したため、売上高は109億5千4百万円となりました。

プロフェッショナルサービス

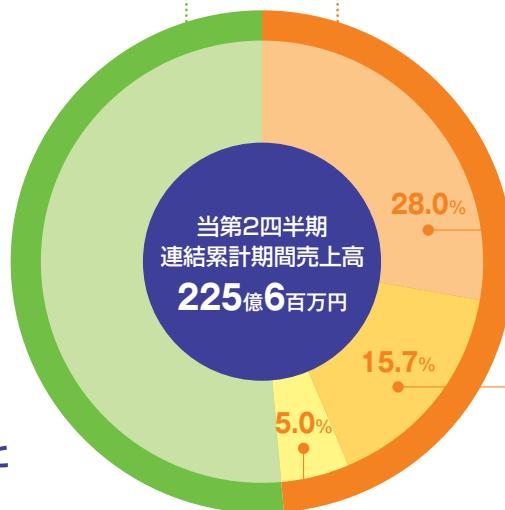
景気後退に伴う投資抑制など厳しい受注環境が続く、製品検証サービス事業等の売上が減少したため、売上高は62億9千6百万円となりました。

アウトソーシングサービス

この1月に開設した神奈川第二データセンターの業績が寄与し、売上高は35億3千7百万円となりました。

パッケージ

製造業、流通業向けのパッケージ製品の売上が減少した結果、売上高は11億1千9百万円となりました。



総資産 (百万円)



純資産 (百万円)



■ 第2四半期累計 ■ 通期

銀行からの借入金残高 (百万円)



第2四半期連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期	当第2四半期 (平成21年7月31日現在)	前連結会計年度[ご参考] (平成21年1月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		16,596,274	19,104,217
現金及び預金		4,711,632	5,272,433
受取手形及び売掛金		7,164,018	9,682,802
仕掛品		1,995,858	1,978,509
繰延税金資産		1,009,590	511,425
その他		1,725,994	1,701,923
貸倒引当金		△ 10,820	△ 42,877
固定資産		22,932,067	18,371,456
有形固定資産		17,084,393	11,726,511
土地		2,583,496	2,583,496
1 その他		14,500,897	9,143,014
無形固定資産		1,304,178	1,953,643
投資その他の資産		4,543,495	4,691,301
資産合計		39,528,341	37,475,673

(単位：千円)

科 目	期	当第2四半期 (平成21年7月31日現在)	前連結会計年度[ご参考] (平成21年1月31日現在)
(負債の部)			
流動負債		7,996,577	9,608,225
買掛金		1,721,004	2,320,294
短期借入金		2,319,186	2,549,986
未払法人税等		137,977	414,336
1 その他		3,818,408	4,323,608
固定負債		10,295,586	5,245,985
長期借入金		2,574,716	2,742,895
退職給付引当金		2,047,864	1,927,235
役員退職慰労引当金		533,385	573,928
1 その他		5,139,620	1,926
負債合計		18,292,164	14,854,210
(純資産の部)			
株主資本		20,487,114	22,027,234
資本金		6,586,000	6,586,000
資本剰余金		6,415,030	6,415,030
利益剰余金		9,234,962	10,775,082
自己株式		△ 1,748,878	△ 1,748,878
評価・換算差額等		47,730	△ 115,448
少数株主持分		701,332	709,677
純資産合計		21,236,176	22,621,463
負債純資産合計		39,528,341	37,475,673

第2四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	期	当第2四半期 (平成21年2月1日から 平成21年7月31日まで)	前第2四半期【ご参考】 (平成20年2月1日から 平成20年7月31日まで)
売上高		22,506,311	27,247,076
売上原価		19,295,596	21,887,364
売上総利益		3,210,714	5,359,711
販売費及び一般管理費		4,064,856	3,969,254
営業利益		△ 854,142	1,390,457
営業外収益		276,639	108,689
営業外費用		195,875	52,700
経常利益		△ 773,378	1,446,446
特別利益		83,305	19,505
特別損失		779,518	202,444
税金等調整前四半期純利益		△ 1,469,592	1,263,507
法人税、住民税及び事業税		77,927	473,727
法人税等調整額		△ 275,585	173,527
少数株主利益		6,743	13,753
四半期純利益		△ 1,278,677	602,498

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	期	当第2四半期 (平成21年2月1日から 平成21年7月31日まで)	前第2四半期【ご参考】 (平成20年2月1日から 平成20年7月31日まで)
2 営業活動によるキャッシュ・フロー		1,436,040	1,269,424
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,135,938	△ 1,834,572
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 856,025	929,455
現金及び現金同等物に係る換算差額		1,145	△ 1,151
現金及び現金同等物の増減額		△ 554,778	363,156
現金及び現金同等物の期首残高		5,208,989	1,968,878
現金及び現金同等物の四半期末残高		4,654,211	2,332,034

当冊子の表記について

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されたことにより、表記内容が変更されていますが、当冊子では株主様の利便性を考慮し、以下の通り表記しています。

- 収益関連数値については、期初からの「累計値」を用いています。
- 当第2四半期の財務情報と前年同期の財務情報とは会計基準や用語表現などが異なります。しかし前年と比較しやすいよう、主要数値については「ご参考値」として併記しています。その際、前年同期（中間期）については「前第2四半期」と記述しています。

POINTS

1 リース会計制度の導入

当期から「リース会計基準」が適用され、「その他」には、リース資産5,447百万円が含まれております。これに対する未払金等は「リース負債」として計上し、1年以内に支払期限が到来するものは流動負債に、それ以外のは固定負債に計上しております。

2 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期は、売上高の減少による営業収入の減があったものの、全社を挙げて費用削減に努めた結果、営業キャッシュ・フローは前第2四半期に比べて、166百万円増の1,436百万円となりました。

株式の状況 (平成21年7月31日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株

発行済株式総数 18,800,000株

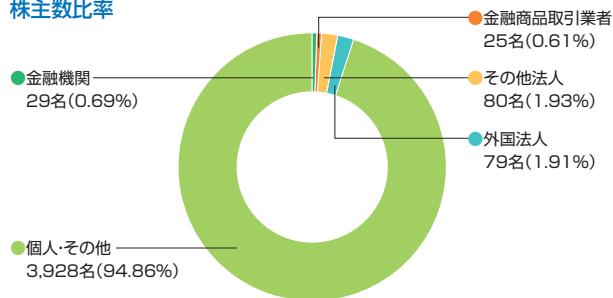
株主数 4,141名

大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
1 ミツイワ株式会社	2,223,600	12.75
2 富士通株式会社	1,680,000	9.64
3 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,074,700	6.16
4 岩崎宏達	938,200	5.38
5 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口4G)	675,900	3.87
6 日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	644,500	3.69
7 シーイーシー従業員持株会	608,500	3.49
8 日本フォーサイト電子株式会社	465,480	2.67
9 日本生命保険相互会社	266,800	1.53
10 ザチエスマンハットンバンクエヌエイ ロンドンエスエルオムニバスアカウント	240,000	1.37

(注) 上記のほか、当社所有の自己株式1,370,521株があります。

株主数比率



株式数比率



(注) 当社所有の自己株式1,370,521株は、「個人・その他」に含まれております。

株主メモ

事業年度 2月1日～翌年1月31日

期末配当金
受領株主確定日 1月31日

中間配当金
受領株主確定日 7月31日

定時株主総会 毎年4月

株主名簿管理人
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL.0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部(証券コード9692)

公告の方法 電子公告 公告掲載URL <http://www.cec-ltd.co.jp>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社の概要 (平成21年7月31日現在)

商号 株式会社 **シーイーシー**
Computer Engineering & Consulting, Ltd.

設立 昭和43年2月24日

資本金 65億8千6百万円

従業員数 3,037名(連結)

役員及び執行役員

役員

取締役会長(代表取締役)	岩崎 宏達
取締役副会長	浜島 博臣
取締役社長(代表取締役)	新野 和幸
常務取締役(常務執行役員)	柏木 茂
取締役(常務執行役員)	芳武 治
取締役(執行役員)	橋村 清海
取締役(執行役員)	田原 富士夫
取締役(執行役員)	長田 一裕
常勤監査役	林 孝重
監査役	長濱 毅
監査役	小島 和人

執行役員

執行役員	木根 博治
執行役員	大林 辰男
執行役員	中野 広
執行役員	猪狩 正
執行役員	廣田 雅博

主な事業所

東京(本社)

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル

神奈川(座間) <さがみ野システムラボラトリ(本店)>

〒228-8567 神奈川県座間市東原5-1-11

神奈川(川崎) <宮崎台システムラボラトリ>

〒216-0033 神奈川県川崎市宮前区宮崎2-9-16

大分 <大分システムラボラトリ>

〒873-0008 大分県杵築市大字熊野字大平21-1

名古屋

〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-10-29 白川第八ビル

大阪

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-6-1 新大阪ブリックビル

福岡

〒812-0025 福岡市博多区店屋町8-30 博多フコク生命ビル

その他オフィス

仙台、渋谷区、沼津、富山、金沢、豊田、京都、都城

主なグループ会社

社名	資本金(百万円)	出資比率(%)	事業内容
連結対象子会社			
フォーサイトシステム 株式会社	250	83.2	ソフトウェア開発
双日システムズ 株式会社	111	70.0	ソフトウェア開発、システム保守・運用
株式会社 シーイーシーソリューションズ	100	100.0	ソフトウェア開発、パッケージ販売・保守
株式会社 シーイーシー・エイアイサービス	100	100.0	ソフトウェア開発
西テレ情報サイエンス 株式会社	90	75.0	ソフトウェア開発
大分シーイーシー 株式会社	30	100.0	ソフトウェア開発
シーイーシー(上海) 信息系统有限公司	175万米ドル	100.0	ソフトウェア開発
持分法適用会社			
コニカミノルタ ビズコム 株式会社	300	34.0	情報機器に関連したITソリューションサービス
株式会社 パイロット	45	30.0	WEBサイト、ECサイト構築
上海宝希計算機技術 有限公司	60万米ドル	30.0	ソフトウェア開発

ホームページの
ご紹介

<http://www.cec-ltd.co.jp>



株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っています。また、当社の事業活動や動向が紹介されています。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9692

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル

TEL.03-5789-2441(代表)

記載の会社名及び商品名等は、一般に各社の商標、または登録商標です。

